

# 常任委員会 審査から

常任委員会に付託された案件の審査の過程で特に議論となった点などについて、委員長報告の要旨を掲載します。

## 総務委員会

岡山市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の制定ほか九件の議案が付託され、三議案について一部委員から反対があったが、いずれも原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

### 政令市移行後の

#### 区役所のあり方

**委員** 区役所に予定されている施設は暫定設置または老朽化しており、区役所建設の財源捻出をどうするか早期に考えておくべきだ。

**市** 全庁的な問題として、財源については意識を共有して考えていきたい。

**委員** 都市内分権の実現に向けた各区役所の予算規模と考へ方は。

**市** 各区の特徴を踏まえた都

市ビジョンに基づく事業の重点化や均衡ある発展を統一的に考慮する必要がある、予算規模は未定だが本庁での一括調整が望ましいと考える。

**委員** 区に予算権がなければ住民要望を本庁に掛け合うことができない。再考すべきだ。

**市** 区の自由な裁量も必要だが、一方で全庁的な調整も大切だ。これらの整合性をどう図るか、引き続き検討したい。

#### 証明書自動交付機整備事業

##### ― 予算執行凍結を解除 ―

― 6月定例市議会です算執行凍結の附帯決議が付された証明書自動交付機整備事業について、8月28日の当委員会において附帯決議に対する当局の対応を聴取した―

①事業の手順、契約方法など透明性の確保については、事業の全体作業を4つに区分し、証明書自動交付システム導入は一般競争入札とするな

ど、競争性、透明性の高い契約方法を採用する。

②セキュリティの強化については、交付機の施錠、閉鎖、格納等による適正な管理を行い、本人確認のための暗証番号はカードには記録せず、サ

ーバー内で管理する。カード紛失等の場合は証明書発行の一時停止処理等を適切に行う。

③カード手数料については、住民基本台帳カードは現行の千円を五百円に改定する（ただし平成23年3月末までは無料）。印鑑登録手数料は現行の二百円を維持し、印鑑登録手帳から印鑑登録カードへの切りかえ及び住民基本台帳カードへの印鑑登録機能を付加する場合は無料とする―との当局の方針が示された。

これに対して、「住民基本台帳カードを不正取得する事件が全国で多発しているが、悪意を持った者に対し住民基本台帳カードのセキュリティ機能は脆弱である」として、一部委員からは反対の意見が出された。一方で、「それぞれの条件については当局の努力を認めることができている」「非常に遅れていた印鑑登録証



証明書自動交付機の導入で市民の利便性向上へ

## 保健福祉委員会

平成20年度岡山市一般会計補正予算（第二号）ほか三件の議案が付託され、いずれも全会一致で原案のとおり可決並びに同意すべきものと決定した。

## 環境消防水道委員会

継続審査となっていた岡山市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定ほか一件の議案が付託され、両議案について一部委員から反対があったが、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

### 家庭系ごみ有料化

平成21年2月から実施

― 本年2月定例市議会におい